

県外派遣報告書

審判員名	増子 友紀	所属	U18
大会名	関東高等学校女子バスケットボール大会		
期 間	6月10日		
会 場	緑ヶ丘スポーツ公園体育館		
スケジュール			
期 日	内 容	場 所	
6月10日	A級1次審査	緑ヶ丘スポーツ公園体育館	
実技			
担当試合	期 日	2022/6/10	男子 <u>女子</u>
	対戦カード	県立幕張総合高校 VS 都立駒場高校	CC <u>U1</u> U2
	相手審判	CC: 小野寺美帆さん U2: 萩原彩水さん	
ミーティング内容		主任	手塚清孝さん
<p>プレゲームカンファレンスでは、ポジションアジャストをしっかりそれぞれができるようにベーシックなメカを徹底しましょうという話をして臨んだ。試合後、以下のようにご指導いただいた。</p> <p>リードのセットアップポジションからクローズダウン、スイッチと動きがスムーズであった。その結果、3人で協力して1試合判定できていた。改善すべきところとして、デュアルの部分はどう見るか、だれが持っていくべきなのか、など丁寧にする必要がある。また、もっとプライマリの審判に任せてセカンダリの笛を遅らせて吹くなど、ダブルホイッスルが必要なくなるようにしていきたい。プレーの判定では、足元をもっと整理する必要があったとご指摘をいただいた。</p>			
全体の感想			
<p>事前の審判会議でのレクチャーで、スムーズなローテーションからのポジションアジャストしてコール、の映像を拝見し、それを目標に臨みました。</p> <p>幕張総合高校のDFで、センターライン付近の仕掛けが多く、バイオレーションやファールが起きましたが、自身のプライマリで吹くべきものをヘルプしてもらったり、逆にヘルプしたりすることがあったので、自身のポジションを修正するとともに、クルー間でも協力できると良かったと感じています。</p> <p>また、ミーティングの内容であったように、自身がトレイルのとき、ペイントエリアへのドライブを現象と同時にコールしてしまうことがあり、プライマリの審判にお任せし、セカンダリでいこうにしていけるようにしたいと思います。</p> <p>試合後、センターでのプレーの見方について、ボールウォッチャーになりがちとご指摘をいただきました。映像で確認したところ、ボールにつられてポジションを変えていたり、トップのボールマンに視線をあてていたりしていたので、自身のプライマリのマッチアップがアクティブでなくても、しっかりと把握しておき、プレーが起こったときに長く目を当てられるよう改善します。</p>			